

平成28年4月1日
校長 決定

I 目指す学校像

本校は、商業教育を核とした教育活動を通してグローバル化する社会環境の中で、自立することのできる人材の育成を使命とし、人権尊重・社会貢献の精神を育み、勤労意欲に溢れ、正しい職業観と社会性を持った人間を育成する。

この使命を達成するため、次のような学校づくりを推進する。

- 基礎学力を身につけ、国際社会に通用する「英語」「会計」「ICT」の三言語をツールとして活用できる生徒の育成。
- 激変する社会を学ばせ、生徒一人一人に明確な将来目標を持たせた学習と学校生活、進路活動を支援し、実践的学習を通じた、高卒及び大卒を見据えた就職指導に強い学校。
- 生徒が目標を持って主体的に学び、特別活動や部活動等の学校生活に自ら意欲を持って取り組み、人間関係を構築しながら相互に人格を尊重できる品位を持った明るい活発な学校。
- 目標や情報の共有化、学校経営の透明化を図り、モチベーションとモラルの高い学校。

II 中期的目標と方策

	中 期 的 目 標	方 策 等
1 学 習	<p>(1) 普通教科を中心とした基礎学力向上</p> <p>(2) 商業教育 ①ビジネスの基礎知識の習得と理解 ②全国高校生開発商品の芝商アンテナショップ構想の推進 ③商業に関する専門的技術・技能の習得と検定・資格の取得</p> <p>(3) コミュニケーションツールとしての英語力育成と検定・資格の取得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科主任による教科会組織運営と学力スタンダードの活用 ・教員の授業力向上策の推進 ・商業専門基礎科目の学力スタンダード活用 ・芝商の立地環境を生かし、全国の商業高校のアンテナショップとして常設店舗を設置し、実践的ビジネスの学びの場を作る。 ・検定取得による基礎スキルを活用した実践力を身に付けさせるため、各種講習や補講を実施。 ・In put(文字情報量、音声情報量の吸収)とOut put(話す量、発信量による表現)充実指導のためICT・CALL教室を活用 ・英語による生活体験や学びの機会を設定
2 生 活 ・ 進 路	<p>(1) 人権尊重・社会貢献の精神を育成し他者を Respect する心を滋養</p> <p>(2) 公共性と社会規範意識の育成</p> <p>(3) 実社会で活躍することを見据えたキャリア教育の推進</p> <p>(4) 健康づくり、体力向上と主体性、自律性の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、インターンシップ、地域連携活動等を意図的・計画的に実施 ・特別支援教育の共通理解と推進 ・社会人としての公共性と社会規範意識を通年の行事等で計画的・意図的に育成 ・早期からの進路意識啓発の取り組み ・社会人基礎力としてのマナー指導推進 ・コミュニケーション能力育成の体系化 ・全校での就職・進学指導體制の構築 ・特別活動や部活動の充実 ・いじめ、体罰の根絶を徹底する環境醸成 ・健康的な生活習慣確立と体力テストデータ分析と活用

<p style="text-align: center;">3</p> <p style="text-align: center;">学 校 経 営 そ の 他</p>	<p>(1) 生徒・保護者・地域等からの厚い信頼と、意欲ある生徒の獲得</p> <p>(2) 明るく開かれた、品位ある学校風土の醸成</p> <p>(3) 学校経営の透明性と共有による運営体制の構築</p> <p>(4) 高い危機管理意識とモラルを有する教職員集団、人材の育成</p> <p>(5) 自律推進予算編成と有効な執行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの充実とトピックス情報の適時発信 ・学校取組重点や特色を明示 ・中学校生徒・保護者等への効果的広報 ・生徒の授業評価、学校運営連絡協議会の評価を踏まえ、活用した学校運営を推進 ・中学校、大学、地域との連携活動の推進 ・各会議や委員会等の会議時間を必要最少に精選し、情報の共有や全校への周知等をスピーディに行える体制を構築 ・高度情報化社会における個人情報等、学校保有財産の厳守体制構築 ・服務規律の徹底と事故防止 ・防災意識と訓練、シミュレーション強化 ・OJTによる人材育成を図る校内研修推進 ・経営企画室の経営参画により特色ある教育活動の裏づけとなる、有効な予算計画、編成と執行
---	--	--

Ⅲ 今年度の取組目標と方策

1 教育活動の目標と方策

(1) 学習指導

- ① 基礎学力向上のため、数学、英語、簿記、財務会計、原価計算について習熟度別少人数授業を実施する。また、基礎力定着や発展的学習のため補習・講習を行っていく。
- ② 学力スタンダードを活用して各標準到達度と最低到達度を明示し、基礎学力の定着と向上を図る。そのため、教科主任を中心に教科会、校内研修の充実を図る。
- ③ 商業の技能スタンダード、特に会計分野、ビジネス情報分野、マーケティング分野の内容と検定試験の活用方針を明確にし、共有化を図る。
- ④ 生徒の学力状況を全校で共有し、教科内、教科相互の授業参観・研究により生徒・保護者の授業への満足度と信頼を高める授業改善に取り組む。

(2) 進路指導

- ① 高校卒業のみでなく大学等卒業までを見据えた本校独自の3年間の進路指導計画を進路指導部中心に作成し、全校体制での推進により生徒の進路実現を図る。
- ② 進路集会、企業・大学見学と研究、就職懇談会、進路講話、保護者向け進路説明会、インターンシップ等の実施により、職業観・勤労観と共に進路意識啓発を図る。また、進路指導を中心に社会人基礎力の向上を図る。
- ③ 生徒の将来目標に向けた取組支援のため、就職指導、進学指導における必要な各検査、模試、検定・資格取得、受験講習等の指導を充実させる。

(3) 生活指導

- ① 生徒の基本的な生活習慣確立と社会人育成の一環を担う商業高校としてマナー教育を強く推進し、品位と道徳性ある芝商生を育成するため生活指導部中心に全校体制で指導に臨む。
- ② 身だしなみ、挨拶、時間厳守の習慣を身に付けさせて、TPO(Time Place Occasion)を踏まえた社会人を育成する。そのため毎月1回、全校での服装指導、毎朝の校門指導を実施し、チャイム授業開始ほか、行事等で5分前行動指導を全校で徹底する。
- ③ 安心・安全な学校生活のため各種セーフティ教室を計画的に実施すると共に、生徒の心身のケアを行い、スクールカウンセラーを活用した相談機能を充実する。

(4) 特別活動・部活動

- ① 部活動の活性化や体育祭等を奨励し、日頃からの体力向上を図り、生徒会活動、行事を組織的な全校体制で支援することで主体性・自律性を育成する。なお、体罰の根絶・特にSNSを通じてのいじめ未然防止に向けた継続的なアピールを校内外に行うことで相互牽制し、安心・安全な学校環境を作り維持していく。
- ② コミュニケーション能力の基礎力育成のため、読書活動を推奨し、プレゼンテーションやディベート等の機会を授業内外で意図的に計画、実施していく。

- ③ オリンピック・パラリンピック教育を活用してアスリートを身近に感じ、スポーツと異文化理解への興味・関心を喚起し、国際社会に視野を向けさせる。
- ④ 体験的、実践的な防災訓練の実施による防災教育で、自助力と共助の精神を育成する。

(5) 学校経営

- ① 本校の特色を理解した意欲ある生徒を安定的に確保するため、教育活動の公開、広報活動出前授業や説明会等を全校体制で強力に推進し、生徒募集活動を充実させる。
- ② 学校運営の校内 OJT 推進を図るため、企画調整会議をはじめ各分掌、委員会、教科会等は効率的な組織運営を心がけ、主幹・主任教諭中心に全校へのタイムリーな情報共有を行う。
- ③ 個人情報の管理徹底、情報通信機器利用モラルの高い活用指針に基づき、危機管理体制を充実させ、サービス事故防止徹底のための意識啓発を継続する。
- ④ 地域、中学校、大学その他の関係機関等との連携活動を充実させるとともに、施設開放、公開講座等、開かれた学校としての役割を果たす。
- ⑤ 経営企画室との連携を密に、教育活動を有効に推進する予算計画と執行管理を行うと共に施設・設備の維持を適確、安全に管理する。

2 重点目標と方策

(1) 意欲ある生徒の安定確保

他校とは異なる本校独自の特色を分かり易く提示・広報することで意欲ある生徒を確保していく。また、ホームページの頻繁なトピックス発信を行い、全校体制で説明会や出前授業、体験入学等に取り組む。

(2) 基礎学力の向上

- ① 新たな都立高校改革推進計画に基づき、専門高校としての普通教科の基礎学力の定着と向上を図るため「伝える授業」から「伝わる授業」への改善に教科会中心に取り組む。
- ② 言語能力基礎醸成のため、読書活動の推進月間を定めて推進する。

(3) 魅力ある実践的学習の取り組み

- ① 「ビジネス基礎」に「東京のビジネス」を組み込んだ内容改善と構築に取り組み、次年度の選択科目履修やビジネスの学び方指導を充実させ、職業観の醸成を推進する。
- ② 生産～流通の中で、実践的なマーケティング、販売促進、簿記、情報処理、マナー教育を展開するため、芝商アンテナショップを利用し、模擬株式会社「芝翔」、広告と販売促進等の選択者を中心に具体的プラン・実践に着手する。
- ③ 竹芝地区まちづくり協議会に参画し、継続的な地域連携による体験学習機会を推進し、生徒会や部活動、授業等で多くの生徒の参加を促す。

(4) 役立つ技術・技能の習得と検定・資格の取得

- ① 商業の授業を通じて全ての生徒に情報を収集、分析、活用できる技術と技能を習得させ、自身の考察を含めたプレゼンテーションの機会を設定する。
- ② 本校における商業の技能スタンダードを設置し、目的を明確に示しながら検定・資格取得を目指させる授業展開、講習設定、外部連携を推進し、積極的に取り組ませる。

(5) 帰属意識と自尊心を持った芝商生活

- ① 集団活動における規律ある態度や道徳心を持って、最大限自己パフォーマンスを発揮させるため、体育祭、文化祭、HR合宿、修学旅行等の意義を考えさせて計画・実施し、芝商生としてのプライドを持った高校生活を過ごさせる。
- ② 部活動に活発に取り組ませ、各種大会やコンテスト等への参加で、目標と自信を持たせる。

(6) キャリア教育の充実

「人間としての在り方生き方に関する新教科」推進指定校として取り組んできた、一学年全員と二学年希望者に、国際ロータリークラブの協力を得たインターンシップを一斉に2日間実施し、職業観、勤労観を高め、早期からの進路意識向上を図る。

(7) 国際的な視野を広げる

国際人としての素養育成のため、JETによる英語補助員を授業その他で有効活用し、異文化紹介の機会を設定していく。また、夏季英国研修を希望参加で実施する。

(8) 連携の推進

中高連携、高大連携、地域連携等を継続、改善しながら推進する。

【28 年度数値目標】

- ★入選応募倍率 推薦 3.0 倍 (2.98) 一般 1.20 倍 (1.09)
- ★進路決定 (就職・進学等希望者) 100%
- ★主な検定試験合格人数
- ・全商協会簿記検定 1 級 50 名 (44)
 - ・日商簿記検定 2 級 30 名 (17)
 - ・全商 2 級、ステップ & 実用英検、準 2 級以上 35 名 (27)
- ★学校評価関係 (生徒・保護者平均)
- ・入学満足状況 80% (73.9)
 - ・マナー指導状況 80% (81.5)
 - ・教員の授業改善状況 80% (60.6)
 - ・進路指導満足状況 80% (73.6)

※()は前年度実績数値